

# 授業科目 レクリエーション実技Ⅰ

【担当教員名】  佐近 慎平		対象学年	2	対象学科	スポ
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	○	◎	◎	
【概要・一般目標：GI0】 レジャー・レクリエーション支援場面における個人や集団とのコミュニケーションスキルを学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 対人援助におけるホスピタリティスキルの基礎を習得する。 2. アイスブレイキングスキルの基礎を習得する。 3. 道具を用いないレクリエーションプログラムを指導できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ホスピタリティトレーニング1 非言語コミュニケーション（視覚）				
2	ホスピタリティトレーニング2 非言語コミュニケーション（触覚）				
3	ホスピタリティトレーニング3 言語コミュニケーション				
4	アイスブレイキングプログラム1 基本隊形と同時発声・同時動作				
5	小学生（高学年）を対象としたレクリエーションワーク1				
6	小学生（高学年）を対象としたレクリエーションワーク2				
7	小学生（高学年）を対象としたレクリエーションワーク3				
8	小学生（高学年）を対象としたレクリエーションワーク4				
9	車いす利用者を対象としたレクリエーションワーク1				
10	車いす利用者を対象としたレクリエーションワーク2				
11	車いす利用者を対象としたレクリエーションワーク3				
12	車いす利用者を対象としたレクリエーションワーク4				
13	人間交流を目的としたレクリエーションワーク1				
14	人間交流を目的としたレクリエーションワーク2				
15	人間交流を目的としたレクリエーションワーク3				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		レクリエーション支援の基礎 楽し さ・心地よさを活かす理論と技術	日本レクリエーション 協会	公益財団法人日本レク リエーション協会	2008・2,000円＋税
参考書					
その他の資料		プリント配布			
【評価方法】 受講態度・実技試験・レポート			【履修上の留意点】		